

技術体系

水稲(移植栽培/つきあかり)

作業名	作業内容	時期	投下資材及び使用設備(10a当り)
種子予措	浸種、催芽	3月中～下	消毒済み種子2.6kg、桶
育苗	育苗箱、床土の準備、播種、灌水、苗立枯病防除、覆土、出芽～緑化～硬化	3月下～4月下	育苗箱10箱、床土他40kg、殺菌剤4cc、自動播種機、電熱育苗器、電気14kWh、育苗ハウス
耕起・整地	耕起、畦畔補修、砕土、代かき	3月下～4月下	トラクター、耕耘ロータリー(180cm)、代かきハロー(240cm)、軽油8.4ℓ
基肥	肥料の運搬・補充 (側条施肥田植機による施用)	4月下	化成肥料45kg(基肥一発、18-12-11)、軽トラック、ガソリン0.2ℓ
防除	イネミズゾウムシ等防除 (移植同時処理)	4月下	育苗箱施用剤1kg
田植	苗の運搬、田植え(栽植密度18.5株/㎡・4～5本)	4月下	側条施肥・除草剤同時散布田植機(乗用6条・高速)、ガソリン1.7ℓ
管理	かん排水管理、作溝	4月下～8月上	作溝機、混合油0.2ℓ
畦畔管理	畦畔草刈り	4月中～8月中	刈払い機、混合油1.2ℓ
本田除草	除草剤散布	6月上	中後期除草剤1kg、ドローン
防除	穂いもち・ウンカ等防除	7月中	殺菌・殺虫剤、ドローン
	カメムシ類防除	7月下	殺虫剤、ドローン
刈取・脱穀	コンバイン収穫	8月中	自脱型コンバイン(3条刈り、グレンタンク)、軽油2.6ℓ、1tトラック+穀物搬送袋、ガソリン0.5ℓ
乾燥	乾燥、調製、出荷	8月中	循環型乾燥機、籾摺機、ライスグレーダー自動計量器、灯油18ℓ、電気9kWh、1tトラック、ガソリン1.0ℓ、出荷用紙袋19枚
基肥	土づくり肥料の運搬、施用	10月上	土づくり肥料150kg、トラクター(30PS)、ライムソワー、軽油1.0ℓ、1tトラック、ガソリン0.4ℓ
耕起・整地	秋耕	10月上	トラクター(30PS)、耕耘ロータリー(180cm)、軽油5.8ℓ

技術体系

水稲(移植・特別栽培/つや姫密苗、ドローン/つや姫)

作業名	作業内容	時期	投下資材及び使用設備(10a当り)
種子予措	浸種	4月上～中	消毒済み種子粃2.4kg、桶
	催芽	4月上～下	催芽器、電気0.7kwh
育苗	育苗箱、床土の準備、播種、灌水、覆土、出芽～緑化～硬化	4月中～下	育苗箱10箱、乾粃240g/箱、床土40kg、覆土5kg、自動播種機、電熱育苗器、電気14kwh、育苗ハウス、育苗シート 育苗ハウス、育苗シート、
耕起・整地	耕起	4月中～5月上	軽油5.8ℓ トラクター、耕耘ロータリー(耕幅180cm)
	畦畔補修	4月上～5月上～中	
	砕土、代かき	4月中～5月上	トラクター、代かきハロー(耕幅240cm)、軽油2.8ℓ
基肥	肥料の運搬、補充  (側条施肥田植機による施用)	5月上～中	軽トラック、ガソリン0.2ℓ  有機入り化成肥料30kg(N:3.0kg, P205:3.9kg, K20:2.1kg)
田植	苗の運搬	5月上～中	軽トラック、ガソリン0.2ℓ
防除	田植え 栽植密度15.9株/m <sup>2</sup> 、3～4本/株 イネミズゾウムシ、いもち病等防除	5月上～中	側条施肥・除草剤同時散布田植機(乗用6条・高速)、ガソリン1.7ℓ
	ウンカ類、カメムシ類防除	5月中下	育苗箱施用剤1.0kg(100g×10箱)
	ウンカ類、カメムシ類防除	7月中～下	殺虫剤、ドローン
	カメムシ類防除	8月上～中	殺虫剤、ドローン
本田除草	除草剤散布(田植同時)	5月上～中	初中期一発処理剤1kg
畦畔管理	畦畔草刈り(4回)	5月上～8月下	刈払機(1時間/1回・10a)、混合油1.2ℓ(0.3ℓ/1回・10a)
追肥	穂肥1回	7月上～中	有機入り化成肥料20kg(N:2.0kg, P205:1.2kg, K20:1.4kg) 動力散布機、混合油0.2ℓ
管理	水管理	5月上～9月上	
	作溝	6月下	混合油0.2ℓ 作溝機
刈取・脱穀	コンバイン収穫	9月上～9月中	自脱型コンバイン(3条刈、グレンタンク付き)、軽油2.6ℓ
	運搬		トラック(1ト)、穀物搬送袋、ガソリン0.5ℓ
乾燥	乾燥	9月中～下	乾燥機、灯油16ℓ、電気6kWh、
	調製		粃摺機、自動計量器(1,200kg/h)、電気3kwh
	出荷		トラック(1ト)、ガソリン1ℓ
基肥	土づくり肥料の運搬・施用	10月上～11月下	土づくり肥料150kg、軽トラック、ガソリン0.4ℓ トラクター、ライムソー、軽油1.0ℓ、
耕起・整地	秋起こし	10月上～11月下	トラクター、耕うんロータリー(180cm幅)、軽油5.8ℓ、

技術体系

水稻(移植栽培/きぬむすめ)

作業名	作業内容	時期	投下資材及び使用設備(10a当り)
種子予措	浸種、催芽	4月下旬～5月上旬	消毒済み種子2.4kg、桶
育苗	育苗箱、床土の準備、播種、灌水、苗立枯病防除、覆土、出芽～緑化～硬化	5月上旬～5月下旬	育苗箱10箱、床土40kg、覆土5kg、殺菌剤5cc、自動播種機、電熱育苗器、電気10kWh、育苗ハウス
耕起・整地	耕起、畦畔補修、砕土、代かき	5月上旬～5月下旬	トラクター、耕耘ロータリー(180cm)、代かきハロー(240cm)、軽油8.4ℓ
基肥	肥料の運搬・補充	5月下旬	化成肥料40kg(基肥一発、22-12-13)、軽トラック、ガソリン0.2ℓ
防除	イネミズゾウムシ等防除	5月下旬	育苗箱施用剤1.0kg(100g×10箱)
田植	苗の運搬、田植え(栽植密度15.9株/m <sup>2</sup> ・3～4本)	5月下旬	側条施肥・除草剤同時散布田植機(乗用6条・高速)、ガソリン1.7ℓ
管理	かん排水管理、作溝	5月上旬～9月中旬	作溝機、混合油0.2ℓ
本田除草	除草剤散布	7月上旬	中後期一発処理剤1kg、ドローン
畦畔管理	畦畔草刈り	4月下旬～9月中旬	刈払い機、混合油1.2ℓ
追肥	追肥	7月下旬	化成肥料6kg(17-0-17)、ドローン
防除	穂いもち・ウンカ等防除	8月中	殺菌・殺虫剤、ドローン
	カメムシ類防除	8月下旬	殺虫剤、ドローン
刈取・脱穀	コンバイン収穫	9月下旬	自脱型コンバイン(3条刈り、グレンタンク)、軽油2.6ℓ、1tトラック+穀物搬送袋、ガソリン0.5ℓ、
乾燥	乾燥、調製、出荷	9月下旬	循環型乾燥機、籾摺機、ライスグレーダー自動計量器、灯油18ℓ、電気9kWh、1tトラック、ガソリン1.0ℓ、出荷用紙袋20袋
基肥	土づくり肥料の運搬、施用	10月中	土づくり肥料150kg、トラクター、ライムソー、軽油1.0ℓ、1tトラック、ガソリン0.4ℓ
耕起・整地	秋耕	10月中	トラクター、耕耘ロータリー(180cm)、軽油5.8ℓ

技術体系

水稲(基幹3作業受託/きぬむすめ)

作業名	作業内容	時期	投下資材及び使用設備(10a当り)
種子予措	浸種、催芽	4月下旬～5月上旬	消毒済み種子2.4kg、桶
育苗	育苗箱、床土の準備、播種、灌水、苗立枯病防除、覆土、出芽～緑化～硬化	5月上旬～5月下旬	育苗箱10箱、床土40kg、覆土5kg、殺菌剤5cc、自動播種機、電熱育苗器、電気10kWh、育苗ハウス
耕起・整地	耕起、畦畔補修、砕土、代かき	5月上旬～5月下旬	トラクター(30PS)、耕耘ロータリー(180cm)、代かきハロー(240cm)、軽油8.4ℓ
基肥	肥料の運搬・補充	5月下旬	化成肥料40kg(基肥一発、22-12-13)、軽トラック、ガソリン0.2ℓ
防除	イネミズゾウムシ等防除	5月下旬	育苗箱施用剤1.0kg(100g×10箱)
田植	苗の運搬、田植え(栽植密度15.9株/m <sup>2</sup> ・3～4本)	5月下旬	側条施肥・除草剤同時散布田植機(乗用6条・高速)、ガソリン1.7ℓ
管理	かん排水管理、作溝	5月上旬～9月中旬	作溝機、混合油0.2ℓ
本田除草	除草剤散布	7月上旬	中後期一発処理剤1kg、ドローン
畦畔管理	畦畔草刈り	4月下旬～9月中旬	刈払い機、混合油1.2ℓ
追肥	追肥	7月下旬	化成肥料6kg(17-0-17)、ドローン
防除	穂いもち・ウンカ等防除	8月中	殺菌・殺虫剤、ドローン
	カメムシ類防除	8月下旬	殺虫剤、ドローン
刈取・脱穀	コンバイン収穫	9月下旬	自脱型コンバイン(3条刈り、グレンタンク)、軽油2.6ℓ、1tトラック+穀物搬送袋、ガソリン0.5ℓ
乾燥	乾燥、調製、出荷	9月下旬	循環型乾燥機、籾摺機、ライスグレーダー自動計量器、灯油18ℓ、電気9kWh、1tトラック、ガソリン1.0ℓ、出荷用紙袋20袋
基肥	土づくり肥料の運搬、施用	10月中旬	土づくり肥料150kg、トラクター(30PS)、ライムソフ(2450)、軽油1.0ℓ、1tトラック、ガソリン0.4ℓ
耕起・整地	秋耕	10月中旬	トラクター(30PS)、耕耘ロータリー(180cm)、軽油5.8ℓ

技術体系

アスパラガス(ハウス半促成栽培/全雄系品種(ガリバー等))

作業名	作業内容	時期	投下資材及び使用設備(10a当り)
耕起・基肥施用	定植予定位置の下をバックホー等で30cm以上深耕し、硬盤を破碎した後、完熟堆肥20t/10aを入れ土を戻す	11～2月	完熟堆肥20 t、石灰質肥料200kg バックホー(借入)
定植準備	全層へ完熟堆肥80t/10aと基肥を施用・耕起し、カマボコ型の畝を立てる	3～4月	堆肥80t、燐酸肥料50kg、鶏糞1000kg、高度化成肥料70kg
	畝幅1.5m、水田転換では、高さ25cm以上(水田転換畑では30cm以上)の高畝を立て、灌水パイプを配管する	4月	トラクター
定植	株間25cmの1条植えを基本とし、鱗芽が深さ2cm程度にセル成型苗を植える	5月	直径9cmポット2,000本(セル成型苗を鉢上げ)
整枝・誘引	倒伏防止のため、おおむね3mごとに支柱を立てるとともに、アスパラネットを2段に張る	5月	支柱2m、アスパラネット(15cm升目)
灌水	土壌が乾燥しないように適宜灌水する	5月～	灌水ポンプ
立茎・摘心	1株15～20本程度を立茎させ、株の養成に努める	5月～	ハサミ
茎葉刈取り	茎葉の80～90%が黄化したら茎葉を地際から刈り取り、圃場外へ持ち出す	12月	刈り払い機
圃場焼却	茎葉刈り取り後、圃場全体をバーナーで焼却する 1回目の焼却処理後、くわ等で軽く畝表面の土を掻き落とし、畝面を焼却す	12月	火炎放射器(灯油バーナー)
冬肥施用	冬肥施用、除草剤散布	12月	窒素肥料40kg、除草剤
春肥施用	春肥は溝に施用し、耕起後、施した堆肥等を畝面に上げ、堆肥マルチで被覆する	1月	堆肥4,000kg、石灰質肥料80kg、鶏糞400kg、高度化成肥料80kg
保温	2月中旬からハウスのサイドビニールを閉め、保温を開始する	2月	
収穫・出荷	26～27cmに伸長したものを収穫し、選別機にかける 規格ごとに新聞紙にくるんで、立てて出荷する	3月上～10月下	収穫ハサミ、軽トラック
立茎	茎径1.0～1.2cm程度のものを1株当たり3～4本残し親茎にする	4月上～中	
灌水	乾燥時には、パイプ灌水だけではなく、2～3日毎に畝間にも灌水する	2月～	灌水ポンプ
夏肥、秋肥施用	立茎開始時及び収穫100kgごとに施用する	4月～	高度化成肥料13kg/回
側枝整理・摘心	畝面から60cm以下の側枝は除去する 擬葉が開いてきたら、草丈120～140cm程度で摘心する	6月上～	ハサミ
病害虫防除	定期的な散布に努める 茎枯病、斑点病、スリップス等には特に注意する	4月～	殺虫剤、殺菌剤